

CONTENTS

2017

1

地盤工学会誌

Vol.65 No.1 Ser.No.708

土と基礎

* HP...<http://urx.nu/bmG4>

口絵写真 | 論説：浅部物理探査による地盤構造の可視化と物性評価
(*HP)

特集テーマ：地下を見る・観る・診る—物理探査技術の最新動向

あいさつ	年頭の挨拶 1 ●村上 章
総 説	地盤を対象とした物理探査技術の過去と現在, そして未来 3 ●松岡 俊文
論 説	浅部物理探査による地盤構造の可視化と物性評価 4 ●稲崎 富士
報 告	干渉 SAR 解析を用いた地表変動量のモニタリングと地下の可視化 8 ●石塚 師也
	空中物理探査の最新動向 12 ●結城 洋一
	地震波干渉法による弾性波探査 16 ●相澤 隆生/黒田清一郎
	不飽和地盤における水の浸透モニタリング 20 ●木佐貫 寛/稲崎 富士/今村 杉夫
	統合物理探査を利用した河川堤防調査 24 ●林 宏一
	アレイアンテナ地中レーダによる不飽和地盤中水分動態の評価 28 ●斎藤 広隆/黒田清一郎/永井 延史/Jacopo Sala
	宇宙線ミュオン粒子を利用した地盤の可視化技術 32 ●鈴木 敬一
(公 募)	同一地域メッシュ内における高密度常時微動計測～徳島県三好市街地を例として～ 34 ●大川雄太郎/秦 吉弥/三神 厚/湊 文博/山内 政輝/常田 賢一
(公 募)	トンネル前方探査の概要及び探査事例 38 ●西 琢郎/若林 成樹
報 告 (投 稿)	3種類のローカルソイルの工学的特性とそれらの工学的利用 42 ●西岡 孝尚/澁谷 啓

複写をされる方へ

地盤工学会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、同協会より許諾を受けて下さい。但し（公社）日本複製権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業等法人による社内利用目的の複写はその必要はありません（社外頒布用の複写は許諾が必要です）。
権利委託先：一般社団法人 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F

FAX：(03)3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作権の引用、転載、翻訳等）に関しては、（一社）学術著作権協会に委託していません。直接、地盤工学会（連絡先は本文最終ページに記載）へご連絡下さい。

アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

技術紹介	探査能率と耐ノイズ性能を高めた CSMT 法電磁探査システム46 ●中里 裕臣/白旗 克志/土原 健雄/石田 聡
	無線センサネットワークを活用した複合型斜面監視システムの開発48 ●櫻谷 慶治/濱沖 俊史/田山 聡/小泉 圭吾
寄稿 (学生編集委員)	香東川総合開発事業における柵川ダム建設工事の見学について50 ●阿部 龍矢
学会の動き	女子中高生夏の学校へのポスター出展を通じて52 ●渡邊 保貴
	北陸支部 富山県と災害協定を締結53 ●竜田 尚希/小林 俊一
学会の動き (国際活動から)	第8回アジア地域若手地盤工学会議（8AYGEC）の参加報告54 ●澤村 康生
技術手帳	サステナブル・レメディエーション55 ●張 銘
講座	地盤工学と地質学における最新のかかわり 5. トンネル工事で遭遇する特殊な地質学的現象の課題と対策57 ●太田 岳洋
	新入会員・書籍紹介64
	編集後記65